



## 9月1日は防災の日

「台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するため」として、1960年に内閣の閣議了解により制定されました。

また、1982年からは、9月1日の「防災の日」を含む1週間（8月30日から9月5日まで）が「防災週間」と定められています。

防災の日は『関東大震災』（1923年9月1日）に由来していることは知られていると思います。それに加えて、この日が制定されるには「伊勢湾台風」（1959年台風15号）が関係しているとも言われています。台風の接近・上陸は8月から9月にかけて多く、この時期に防災について考える機会とするため、「防災の日」が制定されたそうです。

9月1日は[防災の日] 8月30日～9月5日は[防災週間]です！



### 防災対策で重要な「自助」

<https://www.stat.go.jp/naruhodo/c3d0901.html>

なるほど統計学園 出典

基本となるのは「自助」、一人一人が自分の身の安全を守ることです。特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。「自助」に取り組むためには、まず、災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。

### 台風に備える

<https://www.stat.go.jp/naruhodo/c3d0901.html>

なるほど統計学園 出典

台風や大雨は、毎年大きな災害をもたらします。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減したりすることが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

#### ① 家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行います。

- 1) 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 2) 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 3) 風で飛ばされそうな物は飛ばさないよう固定したり、家の中へ格納する。

#### ② 避難場所の確認など

- 1) 避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 2) 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 3) 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。

他にも、家の中で備えておくものや、避難するときに持ち出すものなどを確認しておくことが非常時の備えとなります。「防災の日」を機会に家の中や身近な人との話題にしてみよう。

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/ame\\_chuui/ame\\_chuui\\_p10.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/ame_chuui/ame_chuui_p10.html)

国土交通省 気象庁 自分で行う災害への備え 出典